

第9回 福島問題予備研究会 議事録

日 時：平成 27 年 10 月 9 日(金)15:00～17:30

場 所：化学工学会応接室

出席者：(以下本文も敬称略、順不同)小林、橋本、中尾、鈴木、松井、横堀(記録),
(欠席:戸井田, 郷)

配布資料:

- (1) 第9回福島問題予備研究会討議用メモ(報告事項)(横堀)〈当日配布〉
- (2) 廃炉に向けての福島第一原発の運営管理についての提言(案)(小林)〈事前メール配信〉
- (3) 廃炉に向けての研究開発への提言(案)(小林)〈事前メール配信〉

1. 連絡事項

- ・配布資料(1)により、横堀が参加した関連学協会の活動が紹介された。
- ・政府事故調査委員会の吉田調書(ヒアリング記録)に記載されている汚染水問題に関する発言内容について、もう少し掘り下げて読んでみる価値があるのではないかとの紹介があった。吉田調書(全 400 ページ程度)は DROPBox の共通フォルダーに保管する。

2. 本研究会の今後の活動について化学工学会委員会の提言について

本研究会の今後の活動ならびに化学工学会委員会(福島原発事故対策検討委員会)への提言内容について自由討議を行った。

2-1. 本研究会の今後の活動について

汚染水処理以外にも、熔融燃料の挙動評価について化学工学の貢献が出来るのではないか等の議論があった。水素ガス爆発の原因となったジルコニウム=水反応の反応速度の評価に関しては、TMI 事故後、米国化学工学会(AIChE)の貢献があったことが紹介された(配布資料(1))。デブリ燃料の性状解明などへの関与の可能性が議論され、かつて化学工学会内にも「高温化学工学」という分野のアクティビティがあったことが紹介された。

研究会活動の方向性に関する具体的な提案は特になく、討議は時間切れで終わり次回継続討議を行うこととなった。次回は、今後の活動の方向性を意識した議論が必要になろう。

2-2. 福島原発事故対策検討委員会への提言について

化学工学会委員会への提案書(配布資料(2)、(3))に関して多岐に渡りコメントがあり適宜反映して提出することとなった。(コメント内容は省略)

なお、小林委員は次回の福島原発事故対策検討委員会(10/16)は欠席で、資料のみ提出とのことである。

3. その他

次回予定 11/18(水)15:00-17:30 化学工学会応接室

以上